

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-63259 (P2006-63259A)

【公開日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-250022 (P2004-250022)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/62 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 61/02 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 161/20 (2006.01)

C 0 9 D 163/00 (2006.01)

C 0 9 D 167/04 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 161/20 (2006.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 167/04 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/04

C 0 8 G 18/62

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 61/02

C 0 8 L 63/00

A

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 161/20

C 0 9 D 163/00

C 0 9 D 167/04

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 161/20

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 167/04

C 0 9 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 27 日 (2007.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

末端基の 80% 以上が水酸基であり、かつ数平均分子量が 2000 ~ 50000 のハイパーブランチポリエステル (I)、沸点が 60 ~ 200 の水溶性有機化合物 (II) およ

び水 (III) を含有し、(I)、(II)、(III) の合計量を 100 重量%としたときに、(I) が 10 ~ 70 重量%、(II) が 2 ~ 40 重量%、(III) が 20 ~ 88 重量%であり、しかも下記式の比率を満足することを特徴とする水系分散体。

$$0.05 < [(II) \text{ の重量} / \{ (II) \text{ の重量} + (III) \text{ の重量} \}] < 1$$

【請求項 2】

請求項 1 に記載の水系分散体に加えて、アミノ樹脂、エポキシ樹脂およびイソシアネート化合物からなる群より選ばれた 1 種以上の化合物を含有してなることを特徴とする水系樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち本発明は、末端基の 80% 以上が水酸基であり、かつ数平均分子量が 2000 ~ 50000 のハイパーブランチポリエステル (I)、沸点が 60 ~ 200 の水溶性有機化合物 (II) および水 (III) を含有し、(I)、(II)、(III) の合計量を 100 重量%としたときに、(I) が 10 ~ 70 重量%、(II) が 2 ~ 40 重量%、(III) が 20 ~ 88 重量%であり、しかも下記式の比率を満足することを特徴とする水系分散体である。

$$0.05 < [(II) \text{ の重量} / \{ (II) \text{ の重量} + (III) \text{ の重量} \}] < 1$$

また、上記水系分散体に、さらに、アミノ樹脂、エポキシ樹脂およびイソシアネート化合物からなる群より選ばれた 1 種以上の化合物を含有してなることを特徴とする水系樹脂組成物である。